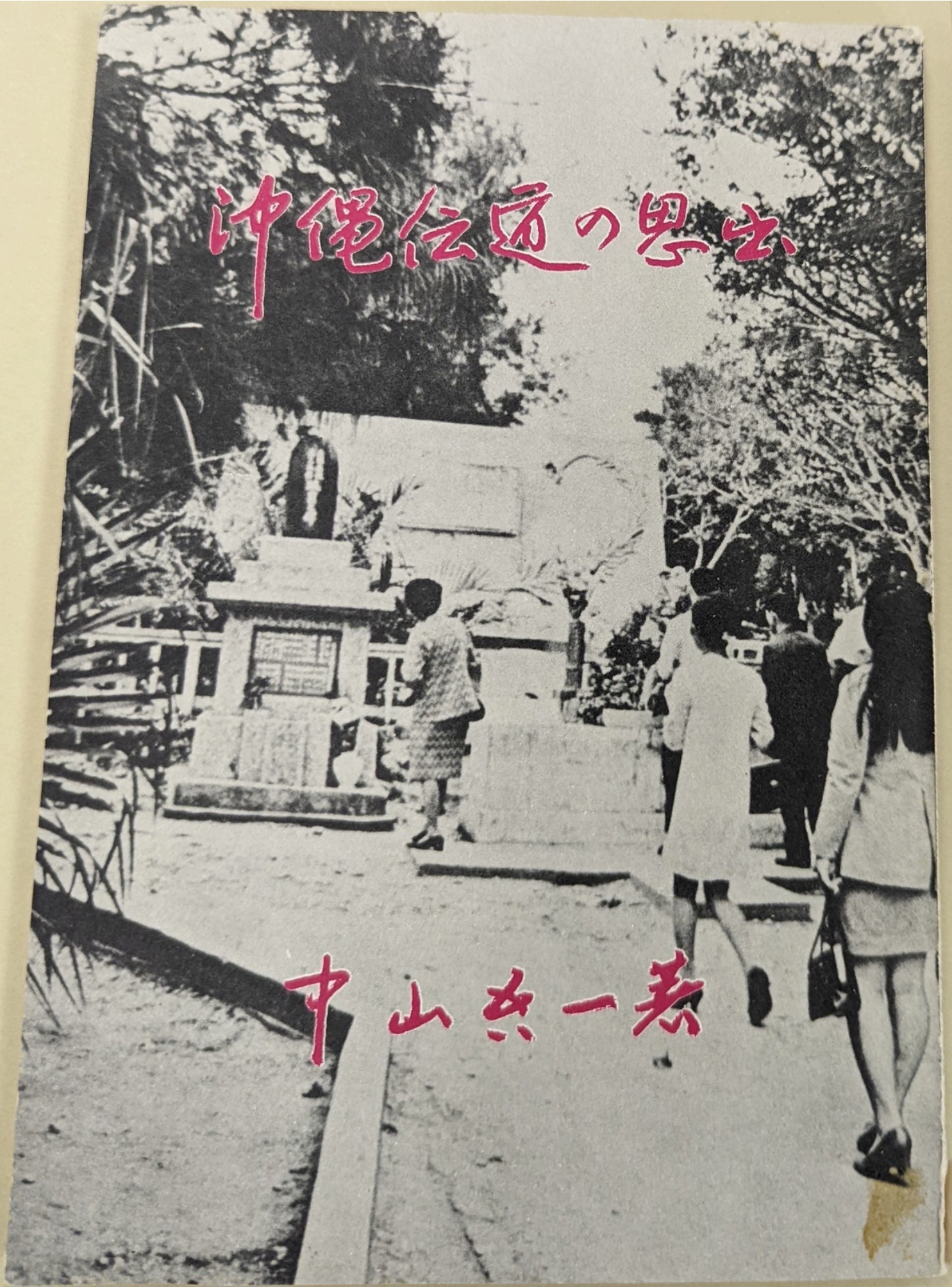


沖繩伝道の思い出

中山兵一君



MY MISSION  
IN  
OKINAWA

(A Recollection)

by Rev. Canon G. G. Nakayama

沖繩伝道の思い出

中山吾一著

自序

私が、沖繩並に沖繩人について関心をもち出したのは、世界第二次大戦終結後、カナダ在住日本人が、収容所から解放されて、全カナダに散在移動を行うようになり、四千の同胞が、ロッキー山脈を越えて、アルバタ州南部の大平原の農園に働くために、移動した頃からである。

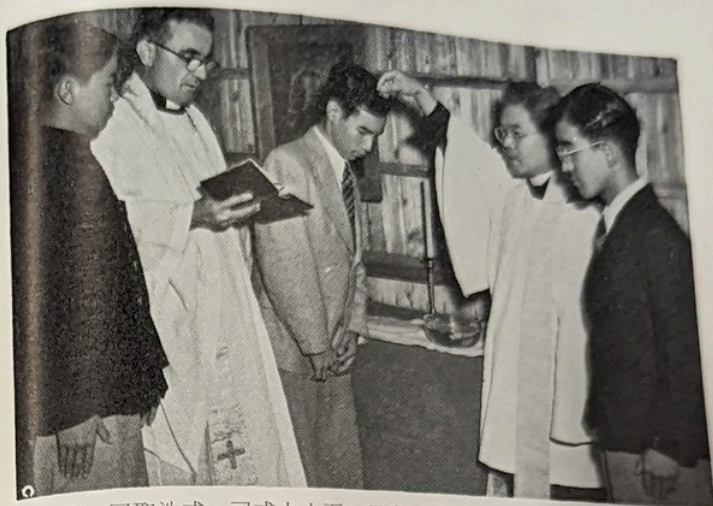
私は当時カナダにおけるただ一人の日系人聖公会牧師として、四千の同胞教化のため、本部の命をうけて、一九四五年八月三十一日に、教会堂もなく、信徒も僅か三家族しかない、アルバタ州コールデールと言う小さな田舎町に、家族と共に移動した。所が此の地方に、神の配慮といおうか、それともこれらの人々の先見の明といおうか、此のアルバタ州に戦前より、約三百名の、色つやのよい、眼のパッチリした、元気そうな沖繩出身の同胞が、あまり排日感情のない此の土地で、戦争の余波をあまり受ける事もなく、白人の信用を得て活動して居られたのに先ず一驚した。日が経つにつれて親しくなった沖繩人は、実に親切な、人情の濃やかな、立派な人達であったので、私は親しい意味で沖繩並に沖繩人を敬愛するようになった。



第一回の聖洗式 56名受洗 1951 クリスマス



1951年の春 沖縄三原聖公会、聖ペテロ教会、聖パウロ教会  
少年会員の一部



第一回聖洗式 司式中山吾一司祭 受洗者新城喬君（現在島袋  
諸聖徒教会主任司祭）1951. 8



第一回聖洗式式服を着ている方は特志伝道師川平朝申先生  
この中に現在司祭の新城喬高良誠君もいる。1951. 8



伊是名島小学校の生徒達 当小学校六年生だった池原貞雄君は現在司祭として活躍しておられる 1951



伊是名島に大台風あり、350数戸の家が倒れた(1951.10)  
この家で1人の幼児が亡くなった



沖縄聖公会三原教会処女会の一部 右から二番目の善平苗さんは現在ウィリアムヘフナー司祭夫人となる



屋我地島小学校に始めて集会をする 1952 春

最近、沖繩からの便りによりますと、十一月三十日には名護聖ヨハネ教会の献堂式が行なわれた由写真と共に報告がまいりました。それから先日お知らせ致しました屋我地、済出部落に出来た聖ルカ教会の主牧者鬼本執事が、愛楽園の祈の家教会で、日本聖公会総裁の八代主教を迎えて司祭接手札が催された由、沖繩伝道も、そろそろ目鼻がつきそうです。

(中略) 私は後一年半で当神学院を卒業しますが、それまでは、せいせい手紙で伝道するのが関の山です。来年三月、京都ウイリアム神学館の渡口愛子さんからは時々便りがあります。とても元気そうです。同じく来年三月、平安短大保育科を卒業する宮平、玉城さん達は、卒業後、六ヶ月間、青森の聖アンデレ教会で保育園の実習をするとのこと、その後沖繩で幼稚園を始めるとのこと。今日はこの位にして失礼します。又お便り致します。今後共私のために、ご指導とご鞭達をお願い致します。向寒の折御身体を大切に。

東京にて  
仲村 実明

一九五四年十一月二十日

因に仲村実明君は、執事、司祭接手札を受け、現在、三原の聖ペテロ、聖パウロ大聖堂の主任司祭で大活動をしておられ、一九六九年十一月には私共の教会にも来て説教されました。

## 2 神学生になるまで

(一婦人伝道師候補生より)

戦前も沖繩の地には、あの有名なベッテルハイムに依って神の福音の種がまかれ、また日本からも司祭様が派遣されたが、あまりよき実を結ばなかった。

世界第二次大戦後、沖繩の地にはアメリカ人の宣教師によって福音の種が新にまかれ、教会が建ち始めた。聖公会もその中の一つである。

アメリカの宣教師二人、カナダより中山吾一司祭が派遣され、活発な伝道が開始された。あの使徒行伝の使徒時代をしのばせるような活き活きとした伝道が開始され、大きな収穫があった。私も最初の網にとらえられた一人で、このことは神の大きいなるお恵みで唯々感謝するのみである。那覇市三原公会で五十九名の洗礼式が一九五一年クリスマス前夜行なわれた。其の中の信徒の殆んどが、沖繩聖青年会長、婦人会長、社会的指導者) 其の間、日本より八代主教様を始め数名の聖職者が来島され、指導を与えられ、今では十一の教会が建てられた。思えば、ここまで沖繩聖公会を、ぐんぐんと導き

My mission to Okinawa

FOLDER No.

6-3